

第七十九回帝國議會
衆議院

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會會議錄(速記)第九回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
(第七五號)
明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(關虎腦胎獸獵獲禁止ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)
(第七六號)

會議

昭和十七年二月四日(水曜日)午前十時二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三善 信房君

理事岩瀬 亮君

理事濱地 文平君

理事森 幸太郎君

理事松本治一郎君

石井徳久次君

小笠原八十美君

川島正次郎君

北原阿智之助君

土田 莊助君

東郷 實君

松浦周太郎君

村上 國吉君

山田 六郎君

田代 正治君

須永 好君

富吉 榮二君

出席政府委員左ノ如シ

北海道廳長官 戸塚九一郎君

農林次官 三浦 一雄君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省水産局長 平岡 梓君

樺太廳長官 小河 正儀君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

司法書記官 關根 小郷君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(關虎腦胎獸獵獲禁止ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

府提出、貴族院送付)

○三善委員長 只今カラ開會致シマス、獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案、明治四十五年法律第二十一號中改正法律案、此ノ二案ヲ一括シテ審議シタイと思フ

ノデスガ、宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○三善委員長 ソレデハ此ノ二案ヲ一括シテ政府ノ説明ヲ求メマス

○三浦(一)政府委員 今回提出致シマシタ獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案ニ付キマシテ、提案理由ヲ御説明申上ゲマス、本法案ハ緊迫セル世界情勢ニ即應スル爲メ、昨年十月十六日附ヲ以テ大學、專門學校等ノ在學年限、又ハ修業年限ノ臨時短縮ニ關スル勅令及文部省令ガ公布セラレマシテ、昭和十六年度ニ於テハ三箇月、同十七年度以降ニ於テハ六箇月ソレ、其ノ卒業期ヲ繰上ゲ、是ガ卒業生ヲシテ當時ヨリモ早ク國家ノ要務ニ從事セシメルコトト相成ツタノデアリマスルガ、右ノ在學年限又ハ修業年限ノ臨時短縮ニ伴ヒマシテ、獸醫師法第一條第二項第一號ニ該當スル者、即チ官立公立ノ專門學校又ハ文部大臣ガ是

ト同等以上ト認メ指定シタル私立ノ專門學校ニ於テ獸醫學ヲ修メ、之ヲ卒業シタル者ニシテ未成年タル者ヲ相當數生ズルコトヲナツタ次第デアリマス、而シテ同法第二條ノ規定ニ依リマス、農林大臣ハ未成年者ニ對シテハ獸醫師ノ免許ヲナスコトヲ得ザルコトニ規定セラレテ居リマス、臨時的措施ト致シマシテ、當分ノ内農林大臣ハ右ノ規定ニ拘ラズ、是等未成年者ニ對シテモ獸醫師ノ免許ヲ與ヘ得ルコトトシ、人的資源ノ剩ス所ヲ活用ニ依リ、戰時下畜產資源確保ノ萬全ヲ期セントスルモノデアリマス

本法案ハ現下ノ時局ニ對應シ、極メテ適切ナルモノト信ズル次第デアリマスカラ、何卒御審議ノ上、速カニ御可決アランコトヲ希望致シマス

明治四十四年、日、英、米、露ノ四國間ニ締結セラレマシタ腦胎獸保護條約ハ、北太平洋ニ於キマス腦胎獸ノ海上獵獲ヲ禁止致シマシテ、其ノ蕃殖保護ヲ圖ルト共ニ、他方四國ノ領有島嶼ニ來集致シマス腦胎獸ノ一定數ヲ獵獲致シマシテ、其ノ獵獲獸皮ヲ相互ニ分配シ、以テ實利ノ調和ヲ期シマスル趣旨ノ下ニ締結セラレマシタモノデアリマスガ、本條約實施後ノ腦胎獸ノ蕃殖狀況ヲ見マスルニ、條約實施當初約十四萬頭デアリマシタモノガ、大正十五年ニハ約八十三萬頭、昭和十五年ニハ約二百二十萬頭ニ増加シタノデアリマス、此

ノ爲ニ冬春二季ニ我ガ國近海ニ洄游致シマス腦胎獸ガ激増致シマシテ、直接間接、我ガ漁業ニ及ボシマスル損害少カラザルニ至リマシタノデ、斯カル漁業被害ノ點ヲ全然考慮ノ外ニ置イテ居リマス本條約ノ存續ハ、漁業ヲ主要産業ト致シマス帝國ニ取リマシテハ、却テ利益ヲ齎スニ至リマシタノデ、昭和十五年十月二十三日、關係各國ニ對シ、本條約第十六條ノ規定ニ基キマシテ、本條約廢棄ノ通告ヲナシマスルト共ニ、北太平洋ニ於キマス腦胎獸ノ合理的基礎ノ上ニ置キマシテ保存又ハ保護スル趣旨ノ帝國政府ノ新協定ノ原則ヲ提示致シタノデアリマスルガ、昨年十月二十二日ヲ以テ廢棄通告ノ豫告期間ハ滿了シ、新協定ハ締結セラルルニ至リマセシタ爲ニ、茲ニ本案ニ依リマシテ、本條約ノ規定ニ基キ、明治四十五年法律第二十一號ニ依リ腦胎獸及ビ腦胎獸ノ海上獵獲ヲ禁止シ、又其ノ陸上獵獲モ政府ニ專屬セシメテ居リマシタノヲ改メ、今後ニ於キマシテハ、政府ガ必要ニ應ジ、是ガ禁止又ハ制限ノ措置ヲ執リ得ルコトト致シマシテ、海洋獸皮資源ノ統制アル利用ヲ圖ルヤウ措置致シテ參ルコトニ致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御可決アランコトヲ希望致シマス

○三善委員長 直チニ質疑ニ移リマス――

○田代委員 此ノ獵虎、腦胎獸ニ關ス

ル法律案(政府提出、貴族院送付)

(第七五號)

明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(關虎腦胎獸獵獲禁止ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

(第七六號)

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

(第七五號)

明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(關虎腦胎獸獵獲禁止ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

(第七六號)

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)

獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

(第七五號)

明治四十五年法律第二十一號中改正法律案(關虎腦胎獸獵獲禁止ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)

ル法律案ニ付キマシテ、若干御質問致シタ
イト思ヒマス、御同致シタノハ、只今御説
明ノアリマシタ頭數ノ件デアリマスガ、昭
和十五年ハ二百二十万頭、最近ノ調べニ依
リマス、臘肭獸ハ「プリビロフ」島、「ア
リユーシヤン」群島ニ於テ二百四十万頭、
ソレカラ海豹島ニ二万頭、ソレカラ中部千
島ニ於テ一万頭ト思ヒマス、ソレカラ臘肭
ハ中部千島ニ於テ約二千五百頭ト云フヤウ
ニ聞イテ居リマスガ、如何デアリマスカ
○平岡政府委員 今ノ臘肭獸ノ數デゴザイ
マスガ、私共ノ調査デハ大體臘肭獸ハ千島
ノ方ニハ殆ド居リマセヌ、百頭内外カト思
ツテ居リマス、ソレカラ海豹島ノ方ハ四万
頭デ、「コマンドルスキー」ガ約三万頭、「プ
リビロフ」群島ガ二百二十万頭居ル、斯
ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○田代委員 私人言ヒマシタノハ間違ヒマ
シテ、中部千島ニハ臘肭ガ居ナクテ、ソレ
ハ「コマンドルスキー」デス

ソコデハハ委員長ニ御願ヒ致シタイノデ
スガ、此ノ改正法律案ハ臘肭、臘肭獸ト云
フヤウナ些々タル問題ノヤウニ思ヒマス
レドモ、私ハ此ノ臘肭、臘肭獸問題ハ、歴
史ヲ檢討致シマスルト、「スラブ」民族ノ東
漸ノ歴史デアリ、サウシテ「アメリカ」民族
ノ北方計略ノ歴史デアリ、將又我が帝國ノ
悲憤慷慨ヲ物語ル所ノ歴史デアリマス、此
ノ事ヲ考ヘテ見マスルト、大東亞共榮圈ノ
確保ト云フ問題ハ、帝國ノ生存ニ關スル大
問題ト相成ツテ居リマスルガ、此ノ大東亞
共榮圈ヲ確保スル爲ニハ、ドウシテモ是ハ
北方ノ備ヘガナケレバイケマセヌ、北方ノ
備ヘガ完全ニナツテコソ、南方ニ於ケル所
謂東亞ノ大共榮圈ヲ確保スルコトガ出來ル

斯ウ私ハ考ヘテ居リマス、サウ致シマスル
ト、北方圈ノ確保ト云フ問題ニナリマスル
ト、餘リ此ノ議會ニ論議サレテ居ラナイノ
デアリマス、事柄ハ非常ニ重要ナ點デアリ
マスルガ、此ノ點ニ關シマシテ私ハ總理大
臣ノ御考ヘヲ聽カシテ戴キタイ程デアリマ
ス、北方圈ノ問題ノ中一番大事ナ問題ハ、
「ソヴィエト」ガ北氷洋ノアノ邊ヲ非常ニ調
査ヲ致シタリシテ、モウ既ニアノ航路ヲ開
拓シテ居リマス、サウシテ又「ソヴィエト」
ハ公法上ニ規定サレマシタ公海ノ距離ヲ海
岸ヲ距ル十二浬ト云フコトヲ主張シテ居ル、
我が帝國ハ三浬ヲ主張シテ居ル、又「アメ
リカ」ハ現在斯ウ云フヤウナ狀態ニナツテ居
リマスルケレドモ、ヤハリ十二浬ヲ主張シ
テ居ツテ、中ニハ三百浬ヲ主張シテ居ル人
モアリマス、是等ノコトヲ考ヘマス、北
方ハ將來非常ニ多事ニナツテ居ル、剩ヘ南
方ノ此ノ東亞共榮圈ヲ確保スル爲ニハ、帝
國ハ北方圈ヲシツカリ握ツテ居ラナケレバ
ナラスト云フコトハ自明ナ理デアリマスカ
ラ、是等ニ對シテドウ云フ風ナ御考ヘガア
ルカラ此ノ際私ハ相當ナ方カラ承リタイノ
デアリマス、今日ハ大臣モ御見エニナツテ
居リマセヌガ、併シ是ハ農林大臣ヨリモ、
先程申上ゲマシタ通り、私ハ總理大臣カラ
御伺ヒシタイ程デアリマスカラ、是ハ練達
堪能ノ委員長ニ御願ヒシテ、ソコ等邊ヲヨ
シナニ御取計ヒヲ願ヒタイト思ヒマス、殊
ニ吾々ハ東北、北海道ノ方ニ住ンデ居リマ
スルノデ、南方ヘヘトマルデ皆ガ眩惑サ
レテ居リマスル場合ニ於キマシテ、吾々ハ
若干一抹ノ悲哀ヲ感ジマス、寒サニハ耐ヘ
ラレマスケレドモ、暑サニハ耐ヘラレナイ
ト云フ習性ヲ持ツテ居リマスルノデ、是等ヲ

考ヘマスルト、北方圈ノ資源ノ開發ト云フコ
トニモ吾々ハ非常ニ關心ヲ持ツテ居リマス、
斯ウ云フコトヲ御考ヘニ相成リマシテ、適當
ノ機會デ宜シウゴザイマスルカラシテ、之ニ
對シテ政府ハドウ云フ御考ヘデアアルカラ御
聽キシタイノデアリマス、ソレデ第一ニ農林
當局ニ御伺ヒ致シタイノハ、此ノ法律ハ三
十年前ニ制定サレタノデアリマス、三十年前
ト言フト、三昔ニナリマス、ソレデスノニ
茲ニ參考資料トシテ出シテ居ルガ、私ハ農
林當局ハ原案ノ法律位ハ御出シニナルト思
ツテ居リマシタ、然ル所吾々ニハ前ノ法律
ガドウデアルト云フコトハチツトモ分ラナ
イ、是ハ甚ダ不親切デハアリマセヌカ、三
十年前モ昔ノコトデアレバ、農林當局デサヘ
御覽エニナラナイデセウ、北方ハドウデモ
宜イト云フ頭ガアレバコソサウダト思ヒマ
ス、是ハ厭味デハアリマセヌ、ドウカ其ノ
邊御注意ナスツテ下サイ、ソレデ此ノ法律
ハ明治二年ニ「ロシヤ」カラ「アメリカ」ガ「ア
ラスカ」ノ割譲ヲ受ケマシタ、其ノ當時臘
肭獸ハ二百萬頭ニモ及ブト稱セラレマシタ、
「アリユーシヤン」群島ノ「プリビロフ」島、
此ノ島ニドシヘ「臘肭獸」ガ來マシテ二百萬
頭ニモ及ンデ居ツタモノヲ、米國ハ「ロシ
ヤ」カラ割譲ヲ受ケテ以來、「ロシヤ」時代
ニ於キマシテハ色々ト保護政策ヲ執リマシ
タケレドモ、「アメリカ」ガ割譲ヲ受ケマス
ト、獲リ放題ニ獲ラセ、ソコデ段々頭數
ガ減リマシテ、明治四十三年、丁度四箇國
條約ヲ取結ンダ前年ニナリマス、十二萬
頭ニ減ツテシマツタ、是ハ大變ダト云フノ
デ、米國ハ日、英、「ソ」三箇國ヲ誘ヒマシテ、
自分ノ島ノ臘肭獸ヲ保護スル爲ニ此ノ四箇
國條約ヲ取結ンダノデアリマス、其ノ當時

ハ日本ノ漁師ハドシヘ船ニ乗ツテアノ邊
マデ獲リニ行ツタノデアリマス、是ハ大變
ダト云フノデ只今申上ゲマシタ通り「アメ
リカ」ガ日、英、「ソ」ヲ誘ヒマシテ此ノ條約
ヲ取結ンダノデアリマス、サウ云フ譯デア
リマスカラシテ、此ノ條約ハ日本ガ米國ノ
壓迫ヲ受ケテ取結ンダノデアリマス、斯ク
ノ如キ侮辱的ノ條約デアリマスカラ私ハ此
ノ法律案ヲ御出シニナル時ニハ甚ダドウモ
侮辱的ノ條約カラ生レタ國內法デアリマス
カラシテ、此ノ際此ノ法律ハ一旦御廢止ニ
ナラレマシテ、新シイ構想ノ下ニ此ノ法律
ヲ制定ナサレテ御提出ニナルノガ當リ前ダ
ト思ヒマス、ソレヲ改正トハ何事デスカ、
此ノ法律ハ詰リ米國ニ壓迫サレマシテアノ
四箇國條約ガ出來、其ノ結果國內法ト相成
ツタ、サウ云フ因縁ヲ持チマスノデ、此ノ
際私ハ國民的ノ矜持カラモ此ノ法律ハ一旦
廢止サレマシテ新シキ御考ヘノ下ニ御出シ
ニナルノガ當リ前デア、此ノ改正ハ私ハ
氣ニ入ラナイ、胸糞ガ惡イ、此ノコトヲ一
ツ御考ヘヲ願ヒタイト思ヒマス、其ノ邊
ウ云フ風ナ御考ヘデアリマスルカ、之ヲ御
聽カセ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ此ノ
第一條ニ依リマスルト禁止又ハ制限トアリ
マス、然ル所現行法ニ依リマスルト、禁止
區域ガ「ベリリグ」海、「ホーウツク」海、
「カムチャツカ」海、ソレカラ日本海ヲ含ム所
ノ北緯三十度以北ノ北太平洋トナツテ居リ
マス、サウ致シマスルト此ノ禁止又ハ制限
スル區域ハヤハリ現行法ノ區域ト考ヘテ宜
シウゴザイマセウカ、前ノト一緒ニ御答ヘ
ヲ願ヒマス
○三浦（一）政府委員 此ノ法律ハ我が國ノ
國力ノマダ充實セザル場合ニ於ケル屈辱的

ナ條約カラ出タモノデアツテ、斯クノ如キ法律ヲ此ノ際改正トハ何事ダ、斯ウ云フ御意見デアリマスガ、此ノ臘虎、臘虎ニ付キマシテハ只今提案説明ノ際ニモ申上ゲマシタ通り、最早サウ云フ過去ノ條約ヲ存續スベキ時期デハナイ、ソコデハツキリシタ態度ヲ以テ政府ハ廢棄ノ通告ヲ致シマシテ、サウシテ其ノ後ノ新協定ニ付キマシテモ公正妥當ナル提案ヲ致シタノデアリマス、然ルニ拘ラズ、相手國ノ方ハ之ヲ受ケ容レナイ、デアリマスルカラ丁度期間モ滿了。致シマシタノデ、此ノ際新構想ヲ以テ發足スルト云フコトニ付テノ御趣旨ハ何等變リガナイノデアリマス、但シ立法上ノ技術ニ付キマシテハ、結局此ノ全文ガ必要ナコトニナリマスノデ、手續上改正ニナル譯デアリマシテ、決シテ是ガ爲ニ過去ノ屈辱的ナ遺物ヲ貽スト云フ意味デハ勿論ナイノデアリマシテ、又同時ニ考ヘヤウニ依リマシテハ、我が國ノ國威ハ宣揚サレテハツキリシタ體制デ以テ行クト云フ一ツノ記念スベキ法律トモ考ヘラレル譯デアリマスカラ、是等ハ御意見ノ各、分レル所デゴザイマスケレドモ、其ノ根本ノ國威ヲ宣揚シテ參ル、同時ニ又之ニ對スルハツキリシタ態度ヲ行クト云フ御趣旨ニ付テハ、少シモ變リガナイト云フコトヲ御諒承願ヒタイト存ジマス

○平岡政府委員 今ノ改正スルカ、廢止シテ新シイモノニスルカト云フ點ニ付テノ御尋ネデゴザイマスガ、ソレハ今時代サンノ仰シヤツタヤウナコトガヤハリ法制局デモ問題ニナツタノデアリマス、ソレデ前ノ法律ハ唯明治四十五年法律第二十一號ト云フ風ニナツテ居リマシタガ、ソレガ今度ハ臘虎臘虎臘虎獲取締法ト云フ名前ヲ新シク設

ケタノデアリマス、ソレハヤハリ御趣旨ノヤウナ意味ヲ含ンデ法制局デ斯ウ云フ風ニナリマシタコトモ御諒承願ヒタイと思ヒマス

ソレカラ北緯三十度以北ノ太平洋云々ト云フモノハ、是ハモウ撤廢サレタカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、是ハモウナクナリマシタ、無條件ナノデアリマス、併シ省令デ禁止區域ハ新タニ設ケラレルコトニナリマシタ

○田代委員 先程委員長ニ御願ヒシタノハ後カラ御答ヘ願ヒマス

○三善委員長 只今申上ゲマス、先程田代君カラ御話ニナリマシタ政府ノ相當ナ人ト言ハレマシタガ、適當ニ私ノ方デ政府ト交渉致シマシテ出席ヲ求ムルコトニ手配致シタイと思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○田代委員 今ノ區域ノ問題デスガ、區域ハ撤廢サレタト云フノハ、撤廢シタガ、併シ省令ニ依ツテ其ノ區域ヲ設定スルト云フ意味デゴザイマシタガ、ソコデ區域ヲ設定スル場合ニ於キマシテ、私ハ斯ウ云フコトヲ進言シタイノデアリマス、『ベールリグ』海、『オホーツク』海、日本海、『カムチャツカ』海ト云フモノヲ含ム北緯三十度ト云フノハ、是ハ多分ニ米國ノ御都合、詰リ四箇國條約ノ考ヘニ掣肘サレテ居ル、サウシテサウ云フ風ナ區域ハ限定サレテ居ルノデアリマシテ、北緯三十度ト云フガ如キハ——

東京ハ丁度幾ラデアリマシタカ、東京近傍ニナルデアアラウト思ヒマス、是ガ北緯五十度以北デアアルトカ云フコトナラバ聞エマスケレドモ、北緯三十度ナント云フ程度ハ全體ヲ含シテ居ルト申上ゲタ方ガ却テ宜イト思ヒマス、尤モ臘虎臘虎ハ南ニ下ルト何

處ニ行カ分ラナイ、ズツト南ノ方ニ行クト云フコトデアリマスガ、南ノ方デハ種類ノ違フノガ獲レマスケレドモ、大體北ノ方ヲ相手ニシテ居ルノデアリマスカラ、其ノ區域ヲ設定ナサル場合ニハ餘リ滑稽デナイヤウナ文句ヲ入レテ戴キタイ、ソレデ只今申上ゲマシタ四箇國條約ノ精神ニ掣肘サレテ設定サレタ區域デスカラ、私ハ此ノ際禁止又ハ制限スル區域ハ、日本ノ領海ノ大體近イ所ノ區域ヲ設定スベキモノデアリマシテ、斯ウ云フ『ベールリグ』海トカ、北氷洋トカ云フモノハサウ云フ區域ノ方ニ入レナイ方ガ宜イト思フノデアリマス、ソナナ所マデ區域ニ入レタ所デ取締ガ付クモノデヤナイと思ヒマス、是ハ『ロシア』時代ニ於キマシテ、アソコノ『ベールリグ』海カラ獲レマシタ臘虎臘虎ハ其ノ儘支那ノ方ニ行ツタリ、『フィリピン』ノ方ニ行ツタリシテ居ル歴史ガ物語ツテ居リマスカ、ソレデ之ヲドウ取締ルコトガ出來マスカ、是等ノコトヲ考ヘマス、現實ノ問題カラ言ヒマシテモ、取締ラレナイヤウナ所ヲ包含スルト云フコトハ、却テ其ノ結果ガ法ノ威信ニ關スルコトニナリマスシ、又一ツニハ勃々タル企業心ヲ壓迫スルコトニナリマス、是ハ御承知ノ通り領土ヲ侵略——ト申上ゲマス、變デスガ、開拓スル爲ニハドウシテモ漁業ガ一番先ニナツテ居リマス、其ノコトヲ考ヘマス、徒ラニ一寸シタ考ヘデ、一寸シタ思ヒ付キデ、全體ヲ考ヘルナドト云フコトハ、是ハ以テノ外デアアラウト思ヒマス、又斯ウ云フコトガアリマス、一ツ所デ獲ラナイコト、片方ヲ獲リマス、海ニ棲息スル動物ノ習性上獲ラレナイ所ニヤツテ來ル、獲ル所ニハ寄付カナイト云フコトデアリマ

スカラ、今度日本ノ方ヲ獲ラナイデ遠イ所ヲ獲ルト、遠イ所ニ居タモノハ段々コウチニ來ルト云フコトニナリマスカラ、結果ハ非常ニ日本ノ方ニ餘計居ルヤウニナリマス、サウ云フコトモ考ヘナケレバナラスト思ヒマスガ、其ノコトニ付テ政府ノ御考ヘヲ御聽カセヲ願ヒタイと思ヒマス

○平岡政府委員 御答ヘ致シマス、今ノ禁止區域ノ問題デアリマスガ、ソレハ今度法律ガ改正サレマシタナラバ、御話ノ通り今マデト違ヒマスカラ、日本ノ獨特ノ立場デ種々檢討致シマシテ、特ニ臘虎臘虎ノ洄游狀態ト云フモノヤ、中部千島ガ開放サレマス、鮭鱒ノ事業、色々多種産業ガソコニ出テ參リマスカラ、ソレ等ノ洄游狀態ヲ睨合ハセマシテ、他ノ産業トノ調整ヲ執リナガラ、獨特ノ見解ニ基キマシテ、萬遺漏ナイ方法ニ依リマシテ、禁止區域ヲ設定致シタイト考ヘテ居リマス

○田代委員 無論他ノ産業ト睨合ハセテヤルベキガ現下ノ情勢上妥當デアルト思ヒマス、併シ此ノ際サウ云フ小サイ心持デ斯ウ云フ産業ヲ御取扱ニナルコトハ私ハ困ルコトト思ヒマス、モツト此ノ際考ヘテ大キク伸バシテ、マアヤラセヨウデヤナイカト云フコトガ必要デラウト思ヒマス、私ハ言葉ガ足りマセヌデ、心持ヲ十分ニ言表ハスコトガ出來マセヌケレドモ、在來ノヤウナ先ヅ統制々々ト言ヒマス、サウ云フヤウナコトデ勃々タル企業心ヲ此ノ際抑制スルコトハ宜クナイと思ヒマス、斯ウ云フ海獸ノ捕獲上特ニ申上ゲマス

次ニサウシマス、此ノ臘虎臘虎ハドウ云フ人ニ御許可ニナルト云フ御方針デアリマスカ、特殊ノ會社デスカ、或ハサウ云フモノニ限

定セズニ、實績者ト云フコトニ相成ルノデアリマス。

○平岡政府委員 ドウ云フ者ニヤラスカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、ソレハマダ私ノ方デ色々研究中デハツキ致シマセヌガ、大體之ヲ統制的ニヤツテ参リタイト云フ立場カラ、一ツノ統制的ナ會社ヲ作りマシテ此ノ會社ニ大體ヤラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○田代委員 分リマシタ、ソコデ獵虎ガ非常ニ少クナツタノハ鐵砲デ射ツタ結果ダト私ハ聞イテ居リマス、ソレデ制限又ハ禁止ト云フコトヲオヤリニナルノデアリマスガラ、ソレヲ徹底サセル爲ニハ區域ヲ限定スルトカ、或ハ數ヲ限定スルトカ云フコトニ相成ラネバナラスト思ヒマスガ、突キ進メレバ今申上ゲマシタ漁業法ニモ相當ノ制限ヲ加フベキダト思ヒマス、ソレ等ニ付テ御伺ヒシマス。

○平岡政府委員 御話ノ通りト私ノ方モ考ヘテ居リマスノデ、唯區域ヲ設ケルト云フ以外ニ捕獲ノ頭數デアルトカ、ソレカラ捕獲ノ方法デアルトカ、船ノ數デアルトカ、サウ云フ點ニ付テ相當細カイ制限ヲ設ケタイト考ヘマス。

○田代委員 先程申上ゲマシタ通り三十年モ昔ノコトデアリマスカラ、「ハンター」ハ多ク居リマセヌ、之ニ關スル技術者ガ居ナイノデアリマスガ、何カ之ニ付テ調査會トカ委員會トカヲ設ケル御見込デゴザイマスカ。

○平岡政府委員 サウ云フコトハマダ只今ノ所ハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、此ノ仕事ヲヤラス會社ガ出來マシタナラバ其ノ會社ト十分連絡ヲ取ツテ、ソチヲ技術上ノ方面、是ハ非常ニ御話ノヤウニ古イコトデ

ゴザイマシテ、サウ云フ方面ニ堪能ナル獵師ト申シマスガ、サウ云フ者ハ今ハモウ居リマセヌカラ、ドウ云フ風ニシテ此ノ技術ヲ向上サセテ行カト云フコトハ十分研究致シタイト考ヘテ居リマス。

○田代委員 ソレカラ、モウ一ツ御質問申上ゲタイノハ、皮ヲ鞣ス方法デス、是ハ幾ラ長クヤツテモ日本ハ英米ニ追付キマセヌ、此ノ皮ヲ鞣スノハ今マデ英米ノ技術ヲ採入レテヤツテ居ル、其ノ點ヲ御考ヘニナツテ、日本ガ獨自ノ技術デ英米ヲ凌駕スルヤウナ鞣シ方ガ出來ルヤウニ御配慮ヲ御願ヒシタイト思ヒマス。

ソレカラ、大體獵虎、獵鹿ニ關スルコトハ是デ終リマスガ、中部千島ハ愈、開放ニナル、サウ致シマスガ、彼處ノ魚族ヲドウスルカ、誰ニ捕ラセルカト云フヤウナ問題ガ起ツテ來ルト思ヒマス、私等ノ考ヘデハ、是ハ誰ニデモドシノヤラセテラ、忽チ元ノ通りニ魚ガ少クナツテシマフ、ソレデ一方其ノ周圍ヲ見マスト、統制サレテ居ルノデアリマスカラ、此ノ際中部千島ガ開放サレマシテモ、ヤハリ之ニ統制ヲ加フベキモノダト私ハ心得マス、併シナガラ開放サレルト云フコトガ目前ニモウ出テ居リマスノデ、之ニ對シテ色々許可願ガ出テ居ルヤウニ私共聞イテ居リマスガ、政府ノ御方針ハドウ云フ風ニナツテ居リマス。

○平岡政府委員 御話ノヤウニ、當局ノ方面ニモ、自分等ニ廻シテ貰ヒタイト云フノデ、個人々々デ相當サウ云フコトヲ頼ンデ來テ居ルノモアリマス、併シナガラ、先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ中部千島ノ開放問題ニ付キマシテハ、獵虎、獵鹿ノ獵獲ト云フ以外ニ、水産ノ外ニモ、色々ノ産業、

又礦產資源ノ開發ト云フヤウナコトモ、マダ餘リハツキリシマセヌガ、サウ云フコトモアリマスカラ、ソレガオ互ヒニ邪魔シマスト共倒レニナリマスカラ、十分統制ヲ取ル爲ニ、サウ云フ個人的ノ企業ハ之ヲ避ケルヤウニ努メタイト考ヘマス。

○田代委員 私ノ質問ハ終リマシタ、ドウカ先程ノコトヲ委員長ニ御願ヒシテ置キマス。

○三善委員長 平野君ノ質問ガ留保セラレテ居リマシタガ、今司法省カラ御見エニナツテ居リマスカラ、平野君ニ御許シシマス——平野君。

○平野(力)委員 此ノ際發言ヲ御許シ願ヒマシテ洵ニ恐縮デアリマスガ、前段ノ私ノ質疑ニ付キマシテ、司法當局ニ質疑ヲ留保致シマシタ點ヲ簡單ニ御聽キ致シタイト思フノデアリマス。

農地調整法ノ第十二條ノ運用ニ關スル問題デアリマスガ、是ハ前議會ニ於キマシテ多少御質疑ヲ申上ゲタノデアリマスガ、其ノ時ニ於ケル當局ノ御答ヘハ未ダ十分デアリマセヌノデ、此ノ議會ニ於キマシテ、ハツキリト御問ヒテ致シテ置キタイト思ヒマス、今日農村ニ於キマスル所ノ小作問題ガ相當ニ行キ惱ンデ、何回調停ヲ開キマシテモ、今尙ホ未解決ノ儘存在シテ居ルモノガ相當ニアルノデアリマス、是ハ此ノ努力不足ノ時、且又非常ニ是等ノ問題ヲ早く解決シナケレバナライ時ニ、多數ノ人ガ一日ヲ是等ノ調停ノ爲ニ費シテ居リマスト云フコトハ、農業生産ノ上ニモ非常ニ宜シクナイコトデアルト思ヒマス、殊ニ是等ノ爭議ノ中ニ於テ依然トシテ頑強ナル土地引上ノ事件ト云フモノガゴダハツテ居リマシテ、

農地ニ依然トシテ安定スルコトノ出來ナイ多數ノ農民諸君ガ存在致シテ居リマスト云フコトハ、是亦農業生産ノ上ニ於テ重大ナル失陷デアルト認識セザルヲ得ナイノデアリマス、ソコデ現在ノ合理的ニ制定サレテ居リマス所ノ法律ノ力ニ依ツテ、ドノ條文ニ依ツテ此ノ問題ヲ解決スルカト云フコトヲ吾々ガ研究致シマシタ結果ニ依ルト、農地調整法ノ第十二條ニ依ツテ此ノ問題ヲ處理スル以外ニハナイト思フノデアリマス、現在ノ民法ノ缺陷ニ依リマシテ、地主對小作ノ問題ヲ處理スルコト云フコトハ到底不可能デアル、現在ノ裁判所ガ此ノ民法其ノ儘ヲ運用致シマシテ農地問題ヲ處理サレル限リハ、農業生産力ト云フモノハ増進シナイノデアル、其ノ見地カラ小作調停法ガ生レ更ニ農地調整法ガ制定サレマシテ、不完全デアリマスケレドモ此ノ兩法案ニ依ツテ是等ノ問題ヲ解決致スノデアリマスガ、其ノ農地調整法ノ中ニ於テ此ノ問題ヲ解決スル所ノ中心點ガ本法案ノ第十二條ニアルノデアリマス、即チ第十二條ハ「小作調停法ニ依リ調停委員會ニ於テ調停成ラザル場合ニ裁判所相當ト認ムルトキハ職權ヲ以テ小作官及調停委員ノ意見ヲ聽キ」「小作關係ノ存續、小作條件ノ變更其ノ他爭議ノ解決上必要ナル裁判ヲ爲スコトヲ得」言換ヘマスレバ、強制裁判デアリマス、當時此ノ法律ガ制定サレタ時ニハ、現在ノ司法次官デアアル所ノ大森サンカラ民事局長トシテ、第十二條ハ傳家ノ寶刀トシテ拔クベカラザルモノデアルト云フ御答ヘガアリマシタ、又當時此ノ問題ニ付テハ相當ナル論議ガアツタノデアリマスガ、今ヤ現下ノ農村事情カラ考ヘマシテ、司法省ニ於

カレテハ、農村ノ問題ヲ増産政策ノ見地カラ耕作農民ニ不安ナカラシムル爲ニ、此ノ第十二條ヲ發動セラレテ、不合理ナル土地引上ノ問題等ヲ第十二條ノ適用ニ依ツテハ刀兩斷的ニ解決セラレ、而シテ農民ノ農地ニ對スル安定ヲ得セシメル所ノ態度ヲハツキリト御執リニナルコトガ出來ルカドウカ、此ノ點ニ付テ司法省ニ於テハ何等カノ研究ヲ進メテ居ラレルカドウカ、又地方裁判所等ノ會議ガアリマスガ、是等ノ問題ニ付テドウ云フヤウニ論議ヲサレテ居ルノデアルカ、此ノ點ニ對シテ御答ヘテ願ツテ置キタイト思フノデアリマス

○關根說明員 本日ハ民事局長ガ此ノ席ニ參リマシテ御答ヘスルノガ至當デアリマスガ、只今民法中改正法律案ノ審議ニ列席致シテ居リマス關係上、甚ダ僭越デゴザイマスガ、説明員ト致シマシテ私ヨリ只今ノ御問ヒニ對シテ御答ヘテ致シマス

元來食糧農產物ノ増産確保ト云フコトガ、現下ノ時局ニ於テ非常ニ重要ナ意義ヲ持ツテ居リマスコトハ、皆様御承知ノ通りデアリマス、此ノ時局下ニ於テ小作調停法並ニ農地調整法ガ此ノ小作問題ノ争ヒヲ解決スル方法トシテ重大ナル役割ヲ果シツツアルコトハ是レ亦御承知ノ通りデアラウト存ジマス、唯此ノ小作調停ノ制度ハ元來ガオ互ヒニ争ヒヲシテ居リマス當事者ノ納得ヲ俟ツノデアリマシテ、碎イテ申上ゲレバ、裁判所ナリ或ハ調停委員會ノ方々ナリガ、争ヒヲシテ居ル當事者ノ間ニ入ツテ斡旋シ指導シテオ互ヒノ納得ヲ俟ツノデアリマス、結局打解ケタ解決ト云フコトガ第一主眼ナノデアリマス、所ガ多クノ小作問題ノ争ヒノ中ニハ、オ互ヒガ納得スルマデニ至ラズ

ニ、解決ガ出來ズ、オ互ヒガ讓歩サヘスレバ公正妥當ナル解決ガ出來マスニ拘ラズ、當事者ノ一方ガ或ハ理由ノナイ、感情的態度ナリ或ハ時局ニ對スル認識不足ナリ、或ハ又其ノ外色々ナ事情カラ中々解決出來ナイヤウナ場合ニ於テ、裁判所ノ方カラ一步進ミマシテ、寧ろ當事者ノ折リ合フ俟タズニ、妥當ナル解決ヲシタ方ガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ見地カラ農地調整法第十二條ノ裁判制度ガ出來タノデゴザイマス、固ヨリ此ノ由來ハ御承知ノ通りデゴザイマセウ、所ガ此ノ農地調整法第十二條ノ裁判ト申シマスノハ、元來ガ打解ケタ解決ヲ俟ツ調停制度ノ中ノ例外的ナコトデゴザイマシテ、寧ろ強ヒラレタ解決ト云フ點ガ含マレテ來ルノデアリマス、斯ウ云フ意味合ニ於テ農地調整法第十二條ガ議會デ問題ニナツタ時ニ、當時民事局長デアツタ所ノ現大森司法次官ハ、此ノ制度ハ傳家ノ寶刀デアルカラ慎重ニ扱ハレタイト云フコトヲ各裁判所ニ知ラセルト云フコトヲ述ベタノデアリマス、其ノ結果ト致シマシテカ、中々此ノ十二條ノ裁判制度ガ利用致サレマセズ、御承知ノ通り全國ニ於テモ其ノ數ハ多クハアリマセウ、或ハ小作官ノ方々ナリ或ハ農民ノ中、小作人ノ方々ナリカラ十二條ノ裁判制度ヲ活用シテ欲シイト云フ要望ノ聲ガ吾々ノ耳ニモ入ツテ參リマス、所ガ先程申シマシタヤウニ、此ノ十二條ノ裁判制度ト云フノハ強ヒラレタ解決ト云フコトニナル關係上、成ベクナラバ避ケタ方ガ宜イト云フコトハ調停ノ本來ノ趣旨カラ考ヘマシテ申上ゲラレル點ナノデアリマス、併シナガラ今日ノ非常時局ニ於キマシテ、食糧農產物ノ確保ト云フコトガ重大ナル事柄デアアルニ拘ラズ

或ハ土地所有者ノ方デ此ノ重大ナル時局ニ關聯スル食糧農產物ノ生産確保乃至増産ニ關シテ認識ヲ深メズ、或ハ認識不足ナリト云フ非難ヲ招ク態度カラ、遂ニ妥當ナル解決方法ヲ得ラレナイト云フウヤナコトガアリ得ルノデアリマシテ、斯ウ云フヤウナ場合ニハ裁判所ノ方ニ於キマシテモ、一步進メテ是等ノ事情ヲ考慮ニ入レマシテ、農地調整法第十二條ノ裁判制度ヲ利用スルト云フコトハ考ヘラレルコトデアルト私共存ジテ居リマス、唯併シナガラ御承知ノ通り、是ハ裁判所ガ致スノデアリマシテ、裁判所ガ此ノ裁判制度ヲ利用スル事件ナリヤ否ヤト云フコトハ、具體的ノ事件ニ當ツテ裁判所獨自ノ見解ニ依ツテ判斷致スコトデゴザイマス、所謂司法權ノ獨立ト云フコトデアリマシテ、吾々司法行政ノ範圍カラ兎ヤ角申上ゲラレナイコトハ十分御承知ダト存ジマス、唯此ノ前ノ議會ニ於テ、傳家ノ寶刀デアルカラ成ベク抜カヌヤウニト云フ點ハ、此ノ制度ヲ利用スルナト云フ譯デハゴザイマセズ、飽クマデ慎重熟慮ノ上之ヲ利用シテ差支ナイト云フ信念ヲ得タナラバ、ドシドシヤツテ宜イト云フコトハ吾々考ヘテ居ルノデアリマス、只今申上ゲマシタヤウニ、具體的事件ニ付テハ裁判所ガ獨自ノ見解ヲ致スノデアリマスガ、吾々ハ抽象的ノ問題ト致シマシテ、各控訴院管内毎ニ毎年小作調停ニ關スル協議會ヲ設ケマシテ、吾々出張シテ各控訴院管内毎ニ集ラレタ裁判官ノ方々、小作官ノ方々トノ間ニ、小作調停ト裁判所ノ間ノ關聯問題、延イテハ農地調整法ノ裁判所ノ利用問題ニ付テ檢討致シマスシ、只今申上ゲタヤウナコトモ其ノ席上デ論議ニ出テ居リマス、隨ヒマシテ農地調整

法第十二條ノ裁判制度ノ利用ニ關シテハ、是等ノ研究會ノ討議ノ内容ナドガ恐ラク將來一助トナリ、或ハ其ノ利用數ナドモ殖エテ來ルノデハナイカト云フヤウナコトモ推察サレテ來ルノデアリマス、甚ダ簡單デゴザイマスガ、之ヲ以テ御答ヲ終リマス

○平野(力)委員 只今ノ御答辯相當詳細デハアリマスガ、マダ少シ納得出來ナイノデアリマス、先程申シタヤウニ、傳家ノ寶刀トシテ、成ベク抜カヌヤウニト云フ一應ノ御通牒ガアリマス關係カドウカ、ソレハ私ノ知ル範圍デハアリマセウスケレドモ、相當地方ノ主任判事ニ對シテ之ヲオヤリナサイト言ヒマシテモ實際ヤラナイノデス、其ノヤラナイ理由ヲ大體檢討致シマス、司法省ノ根本態度ガ決ツテ居ラス、斯ウ云フモノヲ無暗ニヤツタ結果、其ノヤラレタ判事サンガ自分ノ責任ニナツテ來ルノデハナイカト云フヤウナ、感ジテ持ツテ居ラレルヤウニ思フノデアリマス、殊ニ況ヤ最近一ツ御注意願ヒタイト思フコトハ、斯ウ云フ農村問題ニ關スル所ノ判事サンノ頭トシテ、法律場面ノミ解釋シナイデ、常識的ナ態度ヲ執ル判事ハ餘リ出世シナイ、ヤハリ法律ハ法律ニ依リ非常ニ拘子定規ニヤラナケレバナラスト云フヤウナ考ヘ方ガ非常ニ強イ、固ヨリ是ハ法ヲ扱ハレル人ノ當然ノ態度ダト思ヒマスケレドモ、農地調整法、小作調停法ヲ扱ハレル判事サンハサウデナイ筈デアリマス、隨デ此ノ第十二條ガドウ云フ問題ニ適用サレルカ適用サレナイカト云フコトノ範圍ハ、今日ハ明確ニナツテ居リマス、傳家ノ寶刀ト云フ言葉ハ一體ドウ云フ言葉デアアルカト云フト、拔

クベキ時ニ抜クト云フノガ傳家ノ寶刀デア
ル、農民ハ自分ガ生産致シマシタ米デモ直
チニ政府ニ向ツテ供出ラシナケレバナラ
ヌ、是ハ相當ナル強制力ノ甚ダシイモノデ
アリマスガ、サウ云フ情勢デア、司法省
ノミガ第十二條ヲ差指イテ、土地ヲ明渡セ
ト要求サレテ、サウシテ取ラレバ明日カ
ラハ生産ニ從事スルコトガ出來ナイ、而モ
極メテ明瞭ニ頑強ニ民法ノ所有權ヲ楯ニ取
ツテ耕作者ニ壓迫ヲ加ヘテ居ルヤウナ事
件、或ハ又小作調停委員會ヲ開クト三十
回、甚ダシイノハ四十回、其ノ年數ハ五年
ニ及ンデ居ル、斯ウ云フヤウナモノヲ依然
トシテ尙ホ調停委員會ヲ御開キニナツテ、
關係者三十人、四十人ガ一日中裁判所或ハ
其ノ他學校ナドニ集マツテ日ヲ暮スト云
フヤウナ馬鹿氣タコトヲ今尙ホヤラセテ居
ルト云フコトハ増産政策ニ對スル誠意ノナ
キヤリ方デア、ドウカ此ノ點ハ一ツハツ
キリ司法當局ニ於テ地方ノ之ヲ扱ハレル裁
判所ノ判事サンニ第十二條ノ適用ヲ積極的
ニヤレ、其ノ範圍ハ無論茲ニ決メテアルヤ
ウニ、小作調停官ノ意見ヲ聽キ、小作官ノ
意見ヲ聽クト云フコトニナツテ居リマスガ
ラ、其ノ範圍ヲ無暗ニ逸脱スルコトハア
リマセヌノデ、第十二條ノ發動ニ對シテ更
ニ百尺竿頭一步ヲ進メテ農業増産政策ニ第
十二條ヲ利用スル、斯ウ云フコトニ付テ司
法當局デハ、大臣、次官其ノ他ニ於テ篤ト
御考究ナサツテ決メテ戴キ、斯ウ云フ
コトニ對シテ御注意ヲ煩ハシタイ、斯様ニ
考ヘマス、尙ホ之ニ付テ御答ヘヲ願ヘレバ
結構デアリマス

要シ、此ノ非常時下ニ於キマシテ相當忌ハ
シイコトモアルヤト存ゼラレマスケレドモ、
併シハ當該事件ノ裁判所ニ於キマシテ調
停法第十二條ニ依ツテ裁判スベキカドウカ
ト云フコトハ、ヤハリ當該裁判所ニ於テ慎
重熟慮ノ上決定スルコトナノデアリマシテ、
吾々ハ當該事件ニ付キマシテハ口ヲ入レル
コトハ出來ナイノデアリマス、此ノ點ハ十
分御承知ノコトダト思ヒマスガ、抽象的問
題ト致シマシテハ、吾々機會アル毎ニ御趣
旨ニ副フヤウニ致シタイト存ジテ居リマス
○平野(力)委員 是ハ洵ニシツコイヤウデ
アリマスガ、傳家ノ寶刀ダカラ成べく拔
カヌヤウニト云フ御指令ガ——御指令ト云
フ言葉ガ當ルカドウカ分リマセヌガ、ソレ
ガ出テ居ルノデ地方ノ判事ハヤラスノデス、
是ハ明カニサウ言ツテ居ルノデアリマス、
デスカラ司法省ノ方デドウ云フ内命ヲサレ
ルカト云フコトニ付テハ吾々ノ關スル所デ
ハアリマセヌガ、司法省デ此ノ十二條デヤ
ツテ宜イノダト云フ指令ヲ御出シニナレバ
是ハヤルノデス、ソレハ増産政策ニ非常ニ
貢獻スルコトニナルノダカラ、ソコハ司法
省デ國家目的ニ副フダケノ法律解釋ヲ當然
オヤリニナル必要ガアルヤウニ思フ、是ハ
關聯スルノデ農林省ニモ一寸聽イテ置イテ
貫ヒタイノデスガ、農林省トシテハ吾々ノ
關スル限リニ於テ地方ノ小作官ハ判事ノ方
ニ第十二條ノ運用ヲヤルベシト云フ考ヘ方
ヲ持ツテヤツテ居ラレル、斯様ニ承知シテ
居ルノデアリマス、ソレハ大體ニ於テ只今
吾々ガ述ベテ居リマス此ノ第十二條ノ運用
ニ付テ、農林當局ハ何ト考ヘテ居ラレルカ
之ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

ハ小作官ヲ指導スル觀點ニ於キマシテ、具
體的ニ左様ナ指示ハ致シテ居リマセヌ
○平野(力)委員 ソレハ少シ私ハドウカト
思フノデアリマスガ、既ニ第十三條ノ發動
ニ付テハ地方的ニハ模範的ノ事例ヲ示サレ
テ居リマス、サウシテ之ヲヤルコトガ一番
宜イ、斯ウ云フノガ大體小作官ノ意見デア
ツテ、判事ニ向ツテ相當ニソレヲ要求シテ
居リマス、問題ハ司法省ノ方ノ態度ガ決マ
ラスノデ、此ノ問題ハ行キ惱シテ居ル、モ
ウ地方ノ事實トシテ間違ヒガナイノデアリ
マス、此ノ點ハ一ツ農林當局ニ於テ篤ト御
研究ヲ願ヒタイ
○三浦(一)政府委員 今平野サンノ御尋ネ
ガ法第十二條ノ適用ヲ積極的ニヤルヤウニ
具體的ニ小作官ニ指示シテ居ルカ、斯ウ私
ハ聽イタノデ、是ハ一般的、具體的ニハ出
シテ居ラス、斯ウ申シタノデアリマス、同
時ニ司法省トノ關係ニ付キマシテハ、是ハ
所謂傳家ノ寶刀ヲ積極的ニ運用シテ戴クノ
可否、竝ニドウ云フ方針デ臨シテ戴クカト
云フコトハ、時局下食糧増産ノ問題ガ非常
ニ重大ナ時デアリマスカラ、是ハ篤ト司法
省トモ折衝致シマシテ、適當ナル解決ニ進
ミタイト思ツテ居リマス

トニ付テハ、小作官ノ意見ヲ聽クナリ、或
ハソレニ付テハ相當ナル考慮ヲ拂ハレタ上
ニ於テソレヲ運用ナサルコトガ然ルベキデ
ハナイカト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對
スル何等カノ對策ヲ御講ジニナツテ居ルカ
ドウカ、ソレヲ伺ヒマス
○關根說明員 只今仰セノ點ニ付キマシテ
ハ、大體小作調停調書ガ出來テ、ソレニ基
キマシテ強制執行スルヤウナ場合ニハ、特
ニ豫メ執行文ヲ出シマス前ニ小作官ノ方々
ニ通知致シマシテ、成べく強制執行ノ方法
ニ出ナイデ済メバ、ソレガ一番宜イノデア
ルト云フ所ノ方針デ進ンデ居ル、殊ニ吾々
ハ協議會ナドニ於キマシテ司法省ノ意見ト
シテ述ベテ居ル次第デアリマス
○平野(力)委員 是ハ相當方針トシテハ聽
イテ居リマスガ、現ニ千葉縣ノ方面ニ於テ
或ハ其ノ他若干ノ私ノ知ル最近ノ事例ニ於
テサウナツテ居ラスノガアル、是ハ又農林
省ノ方ニ於テハサウデナイト仰シヤルカ知
レマセヌガ、農林省ノ方カラ是ハ明カニ執
行裁判所ト、所謂普通ノ裁判所ニ對シテ此
ノ問題ニ付テハ少クトモ小作官ノ意見ヲ聽
クヤウニ、斯ウ云フコトヲ——或ハ非公式
デアルカモ知レマセヌガ、言ウテアルト云
フコトデアリマスガ、此ノコトニ付テ今尙
ホ十分デナイノデアリマス、隨テ今日ノ時
世ニ於テ土地ヲ取上ゲテ何モ作ラセナイデ
放ツテ置クト云フヤウナコトハ、假ニ一町
歩カ二町歩デアルト致シマシテモ、是ハ許
スベカラザル事例デアリマスノデ、此ノ點
ニ付キマシテハ、司法省ニ於テハ、只今御
言明ニナツタヤウニ、内容ガ間違ヒガナイ
ヤウニサレテ居ルナラバ結構デアリマスガ、
サウデナイ事例ガ段々ニアルノデアリマス

○關根說明員 只今仰セノ如ク或ハ小作調
停事件ニ依リマシテハ、非常ニ長イ年月ヲ

○三浦(一)政府委員 農林省ト致シマシテ

カラ、特ニ御注意ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○三善委員長 次ハ野溝勝君

○野溝委員 獸醫師法第二條ノ臨時特例ニ關スル法律案ニ關シマシテ、二點質問シテ見タイト思ヒマス、本法改正ノ要旨ハ戰時下獸醫師資源ノ不足ヲ補充スル爲デアルト云フコトデアリマシテ、本案ノ精神ハ吾々能ク了解スルノデアリマス、併シ唯年齡ヲ低下シテ獸醫師ノ補充ヲスルト云フダケデハ現下ノ馬政、畜政ノ全體ニ互ル畜産ノ指導ハ中々容易デナイト思フノデアリマス、手取早ク私ノ質問ノ要旨ヲ申上ゲルナラバ、獸醫師並ニ獸醫手ノ免許ヲ今一步ヲ進メマシテ擴充スル意思アリヤ否ヤト云フコトデアリマス、其ノ内容ハ特ニ第三次ノ馬政計畫實施以來、並ニ農林省ニ於キマシテ畜産擴充計畫ヲ立テマシテ、牛、豚、綿羊其ノ他一切ノ畜産ニ對スルソレノ増産ノ計畫ヲ立テ居ルノデアリマス、馬ニ於ケル増産計畫ニ致シマシテモ、或ハ其ノ他家畜ニ對スル増産計畫ニ對シ、其ノ計畫ヲ遂行シテ行ク指導者ト云フモノハ、多クノ畜産技術員及ビ獸醫師ニアルト思フノデアリマス、然ルニ此ノ改正法律案ニ依ル獸醫師ノ免許ヲ擴充スルト云フ程度デアッタナラバ、中々以テ馬産畜産ノ増産計畫ヲ遂行スルコトハ不可能デアリマスガ故ニ、此ノ際全國ニ駐屯シテ居リマス所ノ各府縣ノ畜産技術師、技手、其ノ他各試驗場ニ居ル所ノ畜産技術師、技手及ビ各方面ニ居ラレマス所ノ畜産技術員ニ對シマシテ、獸醫學、短期講習ヲナシテハ如何、各畜産技術員ハ一般的ナ畜産知識ヲ持ツテ居リマスカラ、特殊ノ獸醫科學デアル解剖或ハ病理、或ハ生

理、組織、治療等デスガ、其ノ程度ノ短期講習ヲ與ヘサヘスレバ、畜産技術員、技師、技手ノ方々ハ獸醫學ヲ十分體得出來得ルト思ヒマス、此ノ年齡低下ニ依ル所ノ獸醫師ノ資源擴充モ結構デアリマスガ、サウ云フ方面ニ對シテ當局ハヨリ一層獸醫師及ビ獸醫手ノ免許擴充ヲスルト云フ意思アリヤ否ヤト云フ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイ

○岸政府委員

獸醫師ノ要員ガ不足スルカラ、ソレガ爲ニ現在居ル所ノ畜産技術員等ニ對シテ、獸醫ノ講習ヲヤル考ヘガアルカドウカト云フ御話デアリマスガ、此ノ法律ト雖モ年齡ヲ低下サセテ、特ニ獸醫師ノ要員ヲ充足サセルト云フ譯デハナイノデアリマシテ、ソレハ昨年ノ十月十六日ニ出マシタ所ノ勅令九百二十四號ニ依ツテ、大學、專門學校ノ卒業期繰上ゲト共ニ、今居ル者ガ未定年ノ爲ニ獸醫師ノ資格ガ得、ラレナイ、ソレデハ御氣ノ毒ダカラト云フコトカラ、直グソレガ實際ノ仕事ニ働ケルヤウニシテヤラウト云フヤウナ意味カラ出來テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ勿論ノヤツタカラト云ウテ、ヨリ以上ノ人ガ出來ルト云フ譯デハナイノデアリマス、此ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス

○野溝委員

一寸履違ヘテ居ラレルト思フノデスガ、私モ獸醫師法ガドウ云フ内容ヲ持ツテ居ルカ位ノコトハ知ツテ居リマス、唯私ノ言フノハ獸醫師及ビ獸醫手トシテノ免許ノ擴充ヲ主張シタ爲メ、ハツキリ當局

ノ御諒解ガ得ラレナカッタカモ知レマセヌガ、獸醫手トシテ資格ヲ與ヘテ貰フコトニナレバ、地方ニ於テ畜産組合ノ獸醫事務ヲ扱フコトガ出來ルノデアリマスカラ、サウ云フコトダケデモ非常ニ能率的ニ宜イト云フ意味ニ於テ質問シタノデアリマスガ、サウ云フ點ニ對スル御所見ハ如何デアリマスカ

○岸政府委員

獸醫手ノ資格モ當然其ノ試験ニ「パス」シナケレバナリマセヌ、併シソレガ試験ヲ受ケ得ルヤウナ餘地ヲ與ヘルヤウニ教育ノ機會ヲ與ヘルコトハ當然デゴザイマス

○野溝委員

ドウカ一ツ其ノ點ニ付キマシテハ特ニ積極的ニ御考慮願ヒタイト思ヒマス

第二點ハ第三次馬政計畫ノ遂行ヲ期スル爲ニ各府縣ニ於キマシテハソレノ増産割當ヲ受ケ大イニヤツテ居リマス、又農林省ノ畜産ノ擴充方針ニ基キマシテ綿羊デアルトカ、豚デアルトカ或ハ羊、牛等ソレノ畜産ノ増産計畫ヲ立テテ居リマスガ、只今申シタ通り中々指導者ノ資源ノ不足ト云フコトガ非常ニ影響シテ居ルノデアリマス、ソレト關聯シテ特ニ御配慮願ハナケレバナラヌコトハ此ノ獸醫師資源ノ優遇助成ノ途ガ非常ニ缺ケテ居ルト思フ——委員長、馬政局長官ハオ見エニナリマセヌガ、如何デスカ

ツテ居ルニ拘ラズ、比較的獸醫師ノ優遇ノ途ガ開ケテ居ラナイ、今回馬事會ガ成立致シマシテ、馬事方面ニ於ケル獸醫師トシテノ權限ハ非常ニ認メラレテ來タヤウデアリマスガ、唯一般畜産方面ノ指導者ト致シマシテ此ノ獸醫師ニ對スル優遇ノ途ガ缺ケテ居リマス、特ニ其ノ地位ニ於キマシテモ其ノ待遇方法ニ於キマシテモ非常ニ劣ツテ居ルノデアリマス、農林省ハ昨年ノ豫算ノ編成ニ當ツテ獸醫師ニ對スル優遇ノ途ヲ色々ト講ジテ居ルヤウニ承ツテ居リマスガ、今回豫算ヲ見ルト其ノ方面ノ豫算ガ何等現ハレテ居ラヌヤウニ思ヒマス、此ノ點ニ關シマシテ當局ハ獸醫資源ヲ確立スル爲ニ優遇助成ノ必要ヲ感ジテ居ルカドウカ、特ニ時局下畜産ノ最モ必要ナルコトハ論ヲ俟タナイノデアリマス、之ニ關シマシテ當局ハ此ノ獸醫資源ニ對スル助成ノ方法トシテドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカ、此ノ席デ承ルコトガ出來レバ幸甚デアリマス

○岸政府委員 御話ノ點ハ獸醫技術者ノ優遇ノ問題ダラウト思ヒマス、成程獸醫技術者ト云ハズ、畜産技術者ト云ハズ、大體技術官關係ノ者ガ相當待遇ガ惡カッタコトハ事實デアルト思ヒマス、隨ヒマシテ其ノ改善ノ爲ノ努力ハ常ニ致シテ居リマス、昨年御協賛ヲ得マシタ豫算ニ於テ地方ノ職員ヲ或ハ待遇ノ官吏ヲ充實スルト云フ途ヲ講ジタノモ其ノ一ツノ現ハレデアリマス、勿論今回ハソレガ出來マセヌデシタケレドモ、凡ユル機會ニ於テ改善シテ、安シテ又積極的ニ仕事ニ從事出來ルヤウニヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 簡單ニ御尋ネ致シマスカラ詳細御説明ヲ願ヒマス、本議會ニ水産關

係ノ案ハ大體是ダケデアアルヤウニ思ヒマスガ、此ノ機會ニ政府ニ對シマシテ、緒戰以來色々ナ水産ニ必要ナル資源ヲ獲得致シマシテ、從來ト違ツタ水産漁撈其ノ他ノ生産資材ガ潤澤ニナツテ來ルコトデアラウト存ジマスガ、之ニ對シテ詳細ナル御計畫ガアリマスナラバ御發表ヲ願ヒタイト思ヒマス、但シ速記ヲ止メテモ構ハナイ、又秘密會ニ依ツテ詳細ニ御發表ニナルコトヲ希望スルノデアリマス、食膳ニ魚ガ上ラナイ、又魚ヲ獲ルコトガ出來ナイ爲ニ漁業家ノ生活ガ安定シナイト云フコトデアリマシテ、要ハ漁撈資材ノ潤澤カドウカト云フコトニ依ルコトハ明カデアリマスガ、此ノ生産資材ニ對スル所見ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 便宜上私カラ御答ヘ致シマス、漁撈資材ニ付テノ詳細ナ説明ヲセヨト云フコトデアリマスガ、其ノ中一番大事ナ資材ハ油デアリマス、ソレカラ麻類、ソレカラ綿絲、ソレカラ造船用ノ資材、即チ鐵、非鐵金屬、多々アル譯デアリマス、是等ハ度々ノコトデ何デゴザイマスガ、物資動員ノ内容ヲ成シマスノデ、全體ノ數字ハ此ノ席デハ説明致シ兼ねマス、但シ油ノ如キ、全貌ヲ申上ゲルナラバ、支那事變以前ニ使ツテ居リマシタト推定サレル漁業用ノ油ノ總量ニ對シマシテ、十數「パーセン」程度ノ數量デ現在實施シテ居リマス、併シソレデケデハ行ケマセヌノデ、是ハ十六年度ノ下半期ニ大體其ノ程度ト、斯ウ云フコトニナリマス、其ノ程度デハ中々容易デハゴザイマセヌガ、最近ハ又或ル程度ノ増配ヲシテ戴キマシテ、ソレヲ以チマシテ先般來水産局デ特ニ色々ノ考案ヲ運ラシマシテ、漁場ノ點、更ニ漁業ノ點其ノ二ツヲ重點

的ニ選擇致シマシテ、其ノ方面ニ今ノ芝シイ油デアリマスガ、貴重ナ油ヲ廻シテ漁撈ノ確保ヲ期シタイト云フ風ニ進ンデ居リマス、是以上詳シク何「トン」、或ハ何貫ト云フヤウナコトハ、特ニ油ニ關スル限リ説明出來マセヌカラ、御諒承ヲ願ヒマス

○松浦(周)委員 秘密會デハドウデスカ

○三善委員長 委員長カラ申上ゲマス、只今農林次官ノ御説明デハ、石油ノ事變前ニ對スル使用量ハ十數「パーセント」ト言ハレマシタガ、肥料ノ如キモ前年度ニ對シテドレダケト云フコトヲ確實ニ言ツテ居ラレルノデアリマスカラ、事變前ニ對シテドレダケノ割合デアアルカト云フコトハ當然言ハレルト思ヒマス、十數「パーセント」デナク、モウ少シ的確ニ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ漁業資材ニ對シマシテモ、事變前ニ對シテドレ程度ノ資材ト云フコトハ、是ハ其ノ歩合カラ申シマスレバ御述ベニナツテ宜イノデハナイカト思ヒマス、唯數字ニ互ツテドレダケト云フ的確ナコトハ、或ハ秘密會等ニ於テ御説明下サルコトガ適當ト思ヒマスカラ、其ノ點ハ區別シテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三浦(一)政府委員 實ハ石油ノ問題ハ各廳間ノ協定ガアツテ相當嚴格ニ取扱ハレテ居リマスカラ、關係廳ト連絡ノ上ニ明日ナリ適當ナ時期ニ御説明申上ゲルコトニ御諮リ願ヒタイト思ヒマス

○西川委員 一寸今ノ問題ニ關聯シテ申上ゲタイト思ヒマス、水産ノ生産力全般ノコトニ付テハ、國民ガ日常生活ニ裨々ト其ノ影響ヲ感じテ居ルノデアツテ、又此ノ頃ノヤウニ魚ガ家庭ニ廻ラスノハ配給機構ガ惡イ爲デハナイカ、然ラバ其ノ配給機構ノ惡イ

爲ニドレ位ノ影響ヲ齎ラシタカ、又資材ノナイ爲ノ影響ハドレ位デアアルカト云フコトハ、出來ルダケ之ヲ明カニシテヤツテ、生活ノ指導ヲスル必要ガアルト思フノデアリマス、特ニ水産資材ハ、油モ重要ナ問題デハアルケレドモ、油ノミデハナイ、ヤハリ漁船ガ作戰ニ協力スル爲ニ徵備サレタ關係等モ多々アリマセウシ、又他ノ資材ノ關係等モ色々アルト思ヒマス、ソレカラ只今御話ノアツタヤウニ、重點ナ配給ニ依ツテノヤリ方モアルト思ヒマス、ソコデ明日デモ之ニ付テ御發表ヲナサイマス時ニハ、唯油ナラ油ト云フ一ツノ資材ノ觀點ヨリ見ズシテ、全般的ナ水産ガ最近ドウ云フ操業狀態ニナツテ居ルカ、將來ハソレヲドウスル積リデアアルカ、水産ニ於テモ計畫生産ト云フコトヲ屢々當局ハ言ツテ居ラレ、特ニ日本水産統制株式會社等ヲ設立サレタノモ、十七年度ニ於テ水産ノ生産計畫ヲ立テナケレバナラスノデ、急イデ此ノ會社ヲ作ラナケレバナラスト云フコトヲ説明シテ居ラレルノデアアル、然ラバ十七年度ニ於ケル水産生産計畫ハ一體ドウ云フ風ニ運行サレントシテ居ルカ、特ニ「マニラ」麻ノ需給ノ如キハ大分狀況モ變化シテ來テ居ルト思ヒマスガ、之ニ付テハ綜合的ニ的確ナル一ツノ計畫、見透シテ次會ニ於テ御發表ニナルヤウニ希望致シテ置キマス

○松浦(周)委員 ソレデハ明日秘密會ヲ御開キ下サルノデスカ、委員長、ドウデスカ

○三善委員長 明日秘密會ニ於テ政府ノ方カラ發表サレルト云フコトデアリマス

○松浦(周)委員 其ノ次ハ先程同僚田代君ガ質問致シマシタ中部千島ノ開放ニ基ク問題デアリマス、水産局長ハ、大體從來ノヤ

ウニ個人ニ權利ヲ持タセナイト云フヤウナ御趣旨ノ御説明ガアツタノデアリマス、其ノ點ニ付テハ別ニ差支ナイト思ヒマスガ、ドウ云フ統制機構ニ依ツテ之ヲ運用サレテ行キマスカ、私ハ國家意識ニ依ル統制ハ何處デモシテ行カナケレバナラスト思フ、併シ其ノ下部機關ニ於テハ個人ノ企業創意ヲ十分ニ發揮セシムルヤウナケレバ漁撈ノ如キモノハ完全ニ生産擴充ハ出來ナイモノト確信スルノデアリマス、他ノ統制ニ於キマシテ徒ラニ企業合同ダケヲサセレバ、是デ生産擴充ガ行ハレルト云フ風ニ早吞込ミシテ、理念統制ニ陷ツテ其ノ實體ノ舉ツテ行カヌ部分ノ澤山アルコトヲ私ハ痛感致シテ居リマス、之ニ對シテ私ハ一ツノ確信ヲ持ツテ居リマス、ソレガ唯單ニ一ツノモノヲ集メルト云フコトダケデハ其ノ下部機構ガ本當ニ活躍出來ルモノデアリ、下部機構ガ從來十分ノ經驗ヲ持ツタモノデアリ、而シテ其ノ下部機構ガ自己ノ漁撈ノ高ニ依ツテ生活ガ出來ルト云フ割出シデナイト、日給ヤ月給取リノ根性デハアノ狂瀾怒濤ヲ打破ツテ生産擴充ヲスルコトハ出來ナイト思ヒマスガ、此ノ點ニ對シマシテ大體ノ見透シ、ドウ云フ機構デドウシテ行カト云フコトニ付キマシテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、更ニ中部千島ノ統制ヲナサレル場合ニ於キマシテ、北海道ニハ北海道ノ漁業團體全部ヲ集メタ道聯ガゴザイマス、其ノ道聯ノ參加モ私ハ必要ナコトト思ヒマス、個々ノ漁業組合ニ權利ヲ許スト云フコトヨリモ、北海道全體ヲ綜合シテ居ル所ノ此ノ團體ヲ其ノ統制ノ中ニ入ラシメテ、サウシテ其ノ下部機關ハ、各地方ニ於ケル漁業團體ガ之ノ下部機關トナツテ生産

ノ擴充ヲ致シテ行クヤウニシナケレバナラ
スト思ヒマス、北海道長官モオ見エデゴザ
イマスカラ、之ニ對シテ兩方カラ、道及ビ
國家全體ノ關係ニ付キマシテ御説明ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○平岡政府委員 御答ヘ致シマス、今ノド
ウ云フ風ニシテ統制ヲヤラシテ行クカト云
フ御尋ネニ付キマシテハ、私ノ方トシテハ
只今ノ所デハ先程田代サンノ御話ニ御答ヘ
致シマシタヤウニ、統制會社ミタイナモノ
ヲ作リマシテ、サウシテソレニ臘肉獸ノ捕
獲ノ事業、ソレカラ鮭鱒トカ、サウ云フ漁
業ヲヤラセル、又場合ニ依リマシテハ鑛山
關係ノ仕事モサセテ各、調整ヲシテヤラシ
テ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、サウシテ
其ノ下部組織トシテ御話ノヤウナ漁業組合
ト云フヤウナモノヲ設ケル——下部組織ト
云フ意味ハマダハツキリ致シマセヌガ、兎
ニ角サウ云フモノヲ下ニ置クトカ、或ハ道
聯ガ其ノ會社ニ對スル株ヲ持ツテ参加スル
トカ云フコトニ付キマシテハ、色々地元ノ
事情モ尊重致シマセヌケレバナリマセヌ
シ、ト云ツテ統制會社デゴザイマスカラ、
何モ彼モ別々ニヤラスト統制ト云フモノ
ノ實ガ舉ガリマセヌカラ、其ノ點ハ十分一
ツ北海道廳ト連絡ヲ執リマシテ不都合ノナ
イヤウニ善處シテ行キタイト考ヘテ居リマ
ス

○戸塚政府委員 私カラモ答ヘヨト云フ御
話デアリマシタノデ、大體水產局長ノ御話
デ御諒解トハ思ヒマスガ、私ノ立場デ考ヘ
テ居ルコトヲ御答ヘ申上ゲマス、只今統制
ノ方法ニ付テ水產局長カラ御答ヘガアリマ
シタガ、マダ私ハ本省ノ案ニ付テ明確ナ協
議ニ與ツテ居リマセヌ、私自身トシテハソ

レゾレ腹案ハ持ツテ居ルノデアリマス、現
在本省デ持ツテ居ラレル案其ノ儘デ宜シイ
カ、或ハ私共ノ方ノ考ヘモ容レテ貰フカ、
是ハ今後御協議ヲ願ハナケレバナラヌト思
ツテ居リマス、唯結論ハ私モ今マデ既ニ地
方デ屢申シテ居ルコトデアリマスガ、只今
水產局長ノ仰シヤツタ通り統制アル企業體
デ行クコトニナラナケレバイケナイ、斯様
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ下部
機構、アナタノ言葉ガ難カシイ言葉デアラ
レタノデ私ニハドウ云フ風ナ意味カ能ク分
リマセヌガ、要スルニ現實ノ漁業者ヲ下部
ノ組織ニ入レヨト云フ意味ニ拜聴致シタノ
デアリマス、其ノ組織ト云フコトガ、ドウ
云フ地位ヲ得ルト云フ意味カ、是ハ色々ニ
考ヘラレルト思フノデスガ、私ハ少クトモ
從來來問ニ言ハレルヤウナ權利ト云フヤウ
ナ言葉デ現ハサレル地位ニハ絕對ニ就ケ得
ラレナイモノダ、就ケ得サスベキモノデハ
ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、唯漁業者モ實際ノ漁業ニ従事スル者ガ
本當ニ現場デ働クノデナケレバ、會社ガ出
來ヤウガ何ガ出來ヤウガ、サウ云フ人デハ
漁業ハ出來ナイノデアリマス、斯ウ云フ人ガ
現實ニ漁業ニ従事スル機會ハ十分優先的ニ
與ヘラルベキモノデ、又與ヘラルガ、ソ
レハ今マデ北千島デ隨分苦勞ヲシタ例ガア
リマス、權利々々ト云フノデヤカマシクテ、
漸ク最近ニドウヤラ纏ツタノデアリマス、
是ハ北海道ノ方ハ能ク御承知ト思ヒマスガ、
サウ云フ憂目ヲ見テ居リマスカラ、今後ハ
サウ云フヤウナ形デハイケナイ、隨テ統制
ノ意味カラ考ヘテモ、漁業ニハ従事サセル、
唯アナタハ妙ニ抑ヘナイデ出來ルダケ捕ラ
セロト仰シヤイマシタガ、出來ルダケ捕ラ

セルノデハ統制ノ意味ガ缺ケテ來ルノデ、
ソコノ加減ハ所謂會社ガ合理的ノ經營ヲヤ
ルト云フ基礎ノ下ニ現實ノ漁業者ニ十分ニ
働イテ貰フヤウニスル、斯ウ云フヤウニナ
ラナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、サウ
云フ意味カラ、御話ノ北海道漁聯ガ道漁聯
トシテ此ノ統制ニ參加スルト云フ必要ガア
リハセヌカト云フコトハ、私ノ考ヘモ勿論
サウシテ行カナケレバナラヌモノダ、斯ウ
云フヤウニ考ヘテ居リマス

○松浦(周)委員 大體會社ヲ作ツテ千島全
體ノ漁業統制ヲシテ行クコト云フコトハハツ
キリ致シマシタガ、此ノ會社ヲ作ルコトノ
内容デアリマスガ、近時色々謂ハレテ居リ
マス所ノ國策會社ノ型ヲ取ツテ行キマスナ
ラバ、是ハ決シテ成功シマセヌ、今マデ國
策會社ノ出來損ヒト云フコトハ立派ニ學問
ガ出來タノデアリマスカラ、今マデノ經驗
ニ徴シテ從來ノ國策會社ノ惡弊ヲ除イテ、
サウシテ本當ニ公社的ナ、營團的ナモノデ
ナケレバナラヌト思ヒマス、只今北海道長
官ガ餘リ捕ラセルバカリデハ統制ニナラヌ
ト仰シヤイマシタガ、正ニ其ノ通りナノデ
アリマス、併シ此ノ會社ガ眞ノ國策會社デ
アリ、營團デアアル所ノ機能ヲ發揮スルナ
ラバ、ソレニ依ツテ得ル利益ハ、海洋資源ノ
培養ニ、或ハ漁撈器械其ノ他ノ研究ノ資料
ニ、或ハ又加工方面ニ於ケル獎勵資金ニ、
所謂漁業人全體ノ福利ノ爲ニ其ノ利益ヲ使
ツテ行クコト云フ考ヘ方デナケレバナラヌト
私ハ思フ、ソレガ簡單ナル國策會社デアッ
テ、漁撈人ヲ搾取スルガ如キコトニ依ツテ
立ツテ居ルモノナラバ、是ハ斷ジイケナ
イト思フ、其ノ會社ヲ經營スルコトニ依ツ
テ漁撈人ノ將來ニ光明ノ與ヘラレルヤウナ

行キ方デナイト私ハイカスト思ヒマス、此
ノ點ニ對シテ更ニ局長ノ御意見ヲ聽キタイ
ノデアリマス

モウ一點ノ問題ニ付キマシテハ、私ハ下
部機構ト云フコトヲ言ヒマシタノデ非常ニ
難カシイト仰シタルノデゴザイマスガ、要
スルニ北海道ニ住ンデ居ツテ現在漁撈ヲシ
テ居ル人、其ノ人ニ魚ヲ獲ル仕事ヲサセロ
ト云フコトデアリマス、ソコデ今北千島ノ
コトニ付キマシテ長官カラ御話ガアリマシ
タガ、私ノ考ヘハ個人ガ權利ヲ取ルノデハ
ナイ、所謂個人ガ權利ヲ取ツテ、要スルニ
羽織ゴロガ眞中ニ入ツテ居ツテ、權利料ヲ
一年ニ五萬圓モ三萬圓モ取り、其ノ先ニ漁
撈人ガ働クト云フノデハイケナイ、ダカラ
サウ云フコトヲ廢メテシマツテ、一ツノ公
營機關——從來ノヤウナ國策會社デナシニ、
本當ニ公社ト云フカ、營團ト云フカ、所謂
公的團體ノヤウナモノデナイト私ハイカス
ト思フ、隨テサウ云フモノデ中部千島全體
ノ經營ヲヤル、要スルニ官民協力ニ依ル機
關ニ依ツテ自治的ニ之ヲ運營サシテ、從來
ノ業者ガ其ノ指導方針ニ依ツテヤルト云フ
コトデアリマス、大體私ノ意見ト同ジヤウ
ニ考ヘマスガ、唯其ノ國策會社ノ性格其ノ
モノガ從來ノヤウナ國策會社デハイカヌ、
ドウシテモ公社デアリ營團デアルト云フヤ
ウナモノデナイトイケナイ、ソレニ依ツテ
得ル利益ト云フモノハ、漁業民全體ノ福利
増進ノ爲ノ應急恆久ノ施設ニ投資シテ行ク、
サウシテ永遠ニ漁業家ノ安全ヲ圖リ、蛋白
脂肪ノ給源タル使命ヲ果スコトガ出來ルヤ
ウニシナケレバナラヌト思フノデアリマス
ガ、之ニ對スル水產局長ノ御意見ヲモウ一
度聽キタイト思ヒマス

○平岡政府委員 今松浦サンノ仰セラレマスル創意ト剛健心ヲ害シハセスカト云フ御話デゴザイマスガ、此ノ問題ハ水産關係ニ付キマシテモ、昔北洋漁業ノ統制問題、又近頃ノ水産新體制ノ問題デ、統制シタ方ガ宜イデハナイカ、シナイ方ガ宜イデハナイカト云フ二ツノ議論ガ常ニ付キ纏ハリ、到ル處デ論議シテ參ツタノデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテモ當然御説ノヤウナ御話ガ出ルコトト存ジマスルケレドモ、私ノ方ト致シマシテハヤハリ之ニ付テ特ニ全ク業態ノ違フ臘虎トカ臘豚獸、ソレカラ鮭鱒、又硫黃トカ「マンガン」トカ云フ鑛山事業、其ノ他色々ナモノヲ一緒ニ致スノデゴザイマスカラ、ドウシテモ其ノ三者乃至四者ナリノ全ク別ナ産業ヲ能ク調和シテヤツテ行ク爲ニハ、ドウシテモ統制的ナ會社ガ要ラウト云フ考ヘデアリマス、今ノ所サウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、併シソレガ具體的ニ公社ニナルカ營團ニナルカト云フコトハ、マダサウハツキリ確定致シテ居リマセスガ、兎ニ角御話ノヤウニ色々ノ統制會社ニ對スル議論ガゴザイマスノデ、其ノ點ニ付テハ十分注意致シマシテ、特ニ今度出來マス新體制ノ中央ノ會社ナドト、此ノ會社ト或ル連繫ヲ保タシメテ、十分サウ云フ點ニ於テ御趣旨ニ副フヤウニヤツテ參リタイト云フ計畫デゴザイマス

○三善委員長 明日ハ午前十時カラ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時五十五分散會